

平成30年度予算見積調書

課室名：水環境課
 担当名：水環境担当
 内線：3081

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B38	水質事故対応強化事業費		一般会計	総務費	環境費	公害対策費	水環境対策費	
事業期間	平成30年度～	根拠法令	水質汚濁防止法、埼玉県生活環境保全条例、河川法			宣言項目		
					分野施策	051143 公害のない安全な地域環境の確保		
1 事業概要			5 事業説明					
<p>ここ数年の年間水質事故件数は、200件強で推移しており、また、その原因判明率は50%程度となっている。公共用水域の水質に大きな影響を与える水質事故について、先端技術を活用して、対応の迅速化を図ることで河川への影響を低減し、もって安心・安全な水辺空間を確保しようとするものである。</p> <p>(1) 先端技術活用可能性の検討 4,952千円</p>			<p>(1) 事業内容 先端技術の活用可能性の検討 4,952千円 AI及びドローンの活用可能性の検討 事業所データ等(ビッグデータ)の洗い出し 本格導入に向けた課題の整理 導入までの工程表と総事業費の概算 予測結果の表示方法(地理情報システム(GIS)を活用)</p> <p>(2) 事業計画 ア 活用可能性の検討調査委託及び有識者ヒアリング イ 必要なデータの洗い出し・収集及び効率的な構築手法の検討</p> <p>(3) 事業効果 ア AIが予測した原因箇所をGIS上に表示することで、迅速な事故対応、原因究明に繋げる。 イ もって、県民の安心・安全を確保することができる。</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費 (細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円								
予算額			財源内訳				一般財源	前年との対比
決定額	4,952						4,952	4,952
前年額	0						0	